

三戸高放送局放課後ラジオスクールパーティー

3年生5人生放送で卒業

カシオペアFM、毎月2回放送



生放送で卒業した三戸高放送局3年生の5人

得た経験、進路で生かしたい

二戸 青森県立三戸高の放送局に所属する3年生5人が2月27日、二戸市のコミュニティFM局・カシオペアFMの自主制作番組「三戸高校放送局放課後ラジオスクール」で生放送で卒業した。5人は3年間、毎月2回の放送をやり遂げ、得た経験をそれぞれの進路で生かすことを誓った。

（熊谷勝之）

スクパは2018年4月5日、放送局と日曜日にスタート。毎月第2・第4木曜日の午後6時から放送し、並ぶ重要活動。同日の放送で

中平礼人さん、中堤廣介さん、大村光さん、早川紗耶香さん、米田藍日さんが卒業した。

同日の放送で5人は、3年間の思い出を振り返った他、OB・OGや後輩から寄せられた温かいメッセージを読み上げ笑顔を見せた。

スクパの制作では、さまざまなことに挑戦した。中堤さんと大村さんは、「言葉遣いに気をつけるようになり詳しくなった」「締め切りに間に合わせるため、パソコンの技術が上がった」と笑う。

藍山さんは「発声練習を続けたら、滑舌良く声を出せるようになった」と話し、米田さんは「皆と一緒に取り組むためには、報道相手が大事だと分かった」と語った。

今後のスクパの放送は2年生1人、1年生2人が引き継ぐ。局長の中平さんは「少ない部員で運営するのは大変だろうが、無理のない範囲で活動してほしい。私たちに助けを求めてくれる喜んで手伝いたい」と後輩にエールを送った。